

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2年 4月 1日

事業所名 Wa

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		時間や場所を行っている。	時間や場所をずらしたり、子ども達が落ち着けるその活動にあった環境整備を行っている。
	2	職員の配置数は適切である	4	1	送迎時な為、組み立てを考えている。	送迎の際、少なくなるが必要な配置数である。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5		必要な場所には手すり等つけている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1	職員会議、チーム会議、モニタリング会議等を通して職員間での意見交換もできている。	今後も職員会議、チーム会議、モニタリング会議等を通して職員間での意見交換を行っていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		毎年保護者に協力していただき行っている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		毎年ホームページで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5		年数回他事業所と相談支援専門員合同で意見交換を行っている。	他事業所と相談支援専門員合同で意見交換を行っていく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		研修には積極的に参加している。	県の研修だけではなく、職員に必要なものであれば積極的に参加している。また、事業所内研修も行っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5		毎年アセスメントをとって把握している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		事業所独自のものを使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		毎月末に会議をし、反省と次月の内容の話し合いを	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		毎月の予定を配布し、職員全員交代で計画を行っている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5		平日、土曜日、長期休暇に合わせて内容を変えている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5		子ども得意とすること・好きなことを計画に盛り込むようにしている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1	変更時等は回覧等行っているが周知不足もある。	朝礼等行い事前の確認を行っているが、急な変更時等周知不足な部分がある為、連絡ノートをしっかりとしていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		申し送りの中で反省点をあげ、検討を行っている。小さなことでもヒヤリハットを記入し、共通認識を持つ	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		独自の書式にて記録を行っている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5		計画に沿った期間でのモニタリングを実施している。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5		ガイドラインと事業所の特化した特色を組み合わせ支援を行っている。		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		その内容にふさわしい職員が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5		日頃より密に連携をとっており、早めに学校等と連携をとることで原因を把握し支援することができている。	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			該当児を受け入れる際は行っていきたい。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5		必ず引き継ぎを行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			該当児がある場合は行っていきたい。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5		事業所での児童の様子を見ていただき、助言もいただいている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		5		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5		全て参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		送迎時や連絡帳などで共通理解を行っており、必要に応じて電話での連絡や事業所へ出向いてもらったり、家庭訪問を行っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	2	担当職員が相談時に助言等を行っている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		利用者負担等は事前に文書にてお知らせ協力をお願いを行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		事業所内相談や必要に応じて相談を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	1	参観日や親子で参加できる行事を実施している。	保護者会はないが今年度も参観日や各行事の参加依頼、懇親会等計画している
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5		苦情等あった場合は苦情解決マニュアルに沿って対応し丁寧に説明を行っている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		毎月のおたより、ホームページの更新を行っている。	
	35	個人情報に十分注意している	5		鍵付きキャビネ保管	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		文書や口頭での説明を行い、一緒に確認を行っている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	2		区長さんとの連携をとっていけたらよい。災害時のことを踏まえ地区の行事に参加していく。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5		防災計画作成し、洪水の訓練等は市へ報告を行っている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		毎月(地震・津波・火災・不審者)訓練を順番に行っている。	今年度からは洪水の訓練も行っていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		年3回外部講師を招いて他事業所と一緒に虐待防止研修を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5		契約時の説明と同意書の同意をもらっている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5		検査内容を頂き、医師からの指示に従っている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		小さなことでも記入し全職員で検討、周知を行っている。	